

第2回評議員会

平成27年11月20日、小春日和の中で第2回評議員会が南安曇教育文化会館に於いて行われました。当日は安曇野市内にある17の小中学校の校長先生とPTA 正副会長が集まり、中間決算報告と監査報告、三行詩コンクールの表彰がなされました。その後、市 P 大久保新副会長の承認と安曇野市 PTA 連合会の要望書、会計処理の議案が可決されました。評議員会の終了後には約60名がグループ討議をして、単 P 同志のつながりと活動の活性化について考え、情報の共有や交換によって課題解決を図りました。



単 P の役員や校長先生を交えてのグループ討議は、これまでの評議員会では新しい試みです。次年度役員の選出など各校共通とも言えるテーマや、制服や学校用品のリサイクルに取り組むなどの独自の活動の発表など、それぞれの学校 PTA の取り組みをより具体的に知ることができる機会になりました。あげられたテーマについて他の学校からアイデア提供がされる様子などを見ていると、新しいつながりが生まれるような単 P の垣根を超えた親睦への期待も高まります。また他校でうまく行っているアイデアは自校でも生かしたいものです。今後もこうした有益な機会をつくっていかればと思います。

三行詩コンクール

【優秀作品紹介】

安曇野市 PTA 連合会三行詩コンクールに応募いただき誠にありがとうございました。第2回評議員会（11月20日に開催）で表彰を行いました。作品紹介と写真、コメントをいただきましたのでご紹介いたします。

※誌面掲載以外の他受賞作品につきましては、安曇野市 PTA 連合会ホームページにてご紹介いたします。ご了承ください。

私には
ありがとうを言える家族がいる
ありがとうと言ってくれる家族がいる

小学生部門
会長賞
白井 祥穂さん

日常のことを三行詩にしたら
会長賞という賞をもらえて
嬉しかったです。

親孝行しっかりしたいな
いっしょ
もうちょっとだけ まっててね

中学生部門
会長賞
丸山 明愛さん

今回の三行詩を思いついた理由は、親への感謝です。普段は言えない「ありがとう」をいつか伝えたいという気持ちをこめて書きました。これからも親への感謝を忘れずに、いろいろなことに、取り組んでいきたいです。

母疲れ うたた寝している その間
泥だらけのユニフォーム洗う
自慢の息子

一般部門
広報委員長賞
宮澤多恵子さん

この詩は、私が毎日の生活で父とあまり話す時間のない中、ケンカをしてみました。この詩の中で私の「後悔」と「話したい」という思いを伝えられ、賞をいただくことができとても嬉しいです。

お父さん もう話さないと言ったけど 5分後
取り消し 話しちゃう

中学生部門
広報委員長賞
石川 愛理さん

小学生の時は、私がユニフォームを洗っていました。中学生になると、自分で洗うようになり、とても感心していました。そんな成長を嬉しく思っていました。

市長・教育長への要望書提出

平成27年12月25日、安曇野市 PTA 連合会として初めて市長と教育長あてに要望書を提出しました。要望内容は小中学校における防災用具等の整備、通学路の安全対策、いじめ等の防止など7項目。市長は「厳しい財政状況があり一度に改善出来ないが、保護者や地域の皆さんと一緒に子どもたちを育てていきたい」とコメントしました。私たちの要望が少しでも実現出来ればと思います。

1. 防災について
2. 交通安全対策について
3. いじめ対策について
4. 給食費会計について
5. 防災無線の使用について
6. 安曇野市からの委嘱委員会への参加要請について
7. その他 支援体制、防災等について



ひまわり

家庭共育委員会

今年度、家庭共育委員会 会報誌『ひまわり』は、広報誌に合併しました。家庭共育委員会では、年3回委員会を開いています。1・2回委員会の内容をご紹介します。



第1回委員会では、事前に各 PTA の活動計画を作成してもらい、当日の資料として配布し、今年度特に力を入れていることを中心に報告し合いました。リユースの活動についての質疑・応答が活発に行われ、各 PTA の活動に生かされました。ワールドカフェ方式の話し合いは、色々な話が聴けて委員の方たちに好評でした。

第2回の委員会では、講師に長野県教育委員会心の支援課 生徒指導係長 鎌田建二先生をお迎えして、「いじめ防止への親の取組～安曇野市家庭共育委員会～」という演題で親ゼミを行いました。あらためて、いじめについて考える良い機会をもて、また、長野県の状況や「長野県いじめ防止対策条例（平成27年3月19日に制定・施行）」についても知ることができました。



長野県いじめ防止対策推進条例の一部

【条例が定める保護者の責務】

第8条 保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、その監護する児童生徒がいじめを行うことのないよう、当該児童生徒に対し、自らを大切に思う気持ちや他者を思いやる心を育むとともに、規範意識を養うための教育その他の必要な教育を行うよう努めなければならない。

2 保護者は、その監護する児童生徒がいじめを受けた場合には、適切に当該児童生徒をいじめから保護するものとする。

3 保護者は、県、国、市町村、学校の設置者及びその設置する学校が講ずるいじめの防止等のための措置に協力するよう努めるものとする。

平成27年度 家庭共育委員会 委員名簿

学校名	単 P 副会長	単 P 委員名	単 P 委員長
穂高北小	木下 智江	正副学級会長会	吉田 美穂
穂高南小	大堀 慎子	家庭共育委員会	降旗 マミ
穂高西小	小林 沙織	家庭共育委員会	勝野 実華
穂高東中	小川 雅代	家庭共育委員会	水口美枝子
穂高西中	畠山 絵梨	陽だまり委員会	水上江里子
豊科北小	丸山 絵美	北小家庭共育委員会	内沢 千晶
豊科東小	柳澤みゆき	学級部	佐藤佐知子
豊科北中	眞島 尚美	家庭共育委員会	中山真由美
豊科南中	小林比呂子	家庭共育委員会	小泊 実知
堀 金 小	小林 玲子	正副学級会長会	高橋 秀妃
堀 金 中	山田 由子	家庭共育委員会	須澤真由美
三 郷 小	二木多賀子	家庭共育委員会	久保田玲子
三 郷 中	伊藤 由美	家庭共育委員会	荷見弘美子
明 北 小	中村とも子	学級会長部	藤澤 由利
明 南 小	丸山 千枝	家庭共育委員会	丸山 千枝
明 科 中	丸山いづみ	学年部	鈴木 雅子

【一年間委員として活躍していただいた皆さんです】